

6月議会報告

弥富市6月議会が7日から27日まで行われました。今議会では、白鳥保育所・設計委託料等の補正予算などが可決されました。

※保育所の詳細は裏面

三宮議員・那須議員の一般質問では、原発、消費税、保育などの問題について取り上げました。

25年度も保育料すえおき 正規保育士を増員

三宮議員は、小泉政権以来の保育分野への企業参入、民間委託の拡大、つめこみ保育などにより、赤ちゃんの死亡事故

などが急増しているのと左下の表を示し、国の保育制度



三宮 十五郎

TEL:67-2252
FAX:67-5011

少なくするためにも正規保育士を増やしてもらいたい。子育て支援が果たしている「未来への投資」という役割だけでなく、市の人口や子供の減少防止、個人市民税や、固定資産税の減少防止や

市長は、制度改正についてはもう少し国の動向を見定めていきたい。保育士の仕事は非常に大変で、年度途中での臨時保育士の採用は難しいので、25年度の保育士は増員して採用したい。

保育料に関しては、25年度もすえおきを考へており、その後の検討課題としながら、市の保育行政が後退しないようにしたいと答弁。

新庁舎建設へ

基本設計に着手

弥富市庁舎改築等検討委員会が、22年8月からの検討作業によって「新庁舎建設基本構想をとりまとめ、議会などに報告。

想定される巨大地震に耐えうる庁舎として、現在地での改築によるスケジュールを発表。

5月1日、大手11社の

指名競争入札で、基本設計と実施設計のための入札が行われ予定価格の40%、3400万円で大建設設計が落札。

※下記参照

3月議会で議員10名による「弥富市庁舎改築等特別委員会」が設置され、みよし市・岩倉市庁舎を視察。現在、大建設計から基本設計について説明を受け、協議しています。

- 平成23年度 基本構想
- 平成24年度 地質調査 基本設計
- 平成25年度 実施設計
- 平成26年度 本庁舎解体工事
- 平成27年度 新庁舎建設工事着手
- 平成28年度 新庁舎建設工事完了
- 付属施設解体工事
- 駐車場整備工事

海部南部水道談合裁判

名古屋地方裁判所は6月24日、H20年12月に訴えられた、海部南部水道企業団の入札談合住民訴訟の18回目の公判を終了し、11月22日に判決を行うことを決めました。

住民の訴えを認めた監査委員会の勧告 企業長が否定して裁判へ

H20年8月に、海部南部水道企業団の利用户住民13氏から「入札談合による企業団の損害の返還と、企業団幹部がかかわった官製談合の疑いがあるため、担当職員の事情聴取を行った上で、必要な処分を行うことを企業長に勧告せよ」という請求が企業団監査委員会に対して行われました。

監査委員会は、住民の訴えに道理があるとして、10月に企業長に請求にこたえるよう勧告しました。

12月1日、企業長はこれに「調査を行った結果（証拠として提出された資料の）単

価に高い類似性は認められたものの、積算単価表・材料単価表が、企業団内部から漏出したとの確証を得るに至らなかった。従って、損害金の請求と職員処分の決定を否定し、自ら任命した監査委員会の決定を否定しました。

住民自治を前進させる公正な判決を

複雑な経過の中で裁判ですから多方面から注目を集め、証拠や証人調べが行われ、幹部職員の遺言ともとれる書類も証拠採用されました。司法の判断が注目されるため多くの人が傍聴できる第1号法廷で判決が言い渡されます。

判決は11月22日(木)

午前10時 名古屋地方裁判所 第1号法廷(1F)

談合防止・水道料を引き下げを求める公正判決をぜひ傍聴してください

障害者(48枚)／高齢者(24枚) タクシーチケットの改善を

障害者タクシーチケットを利用者や議会との協議もなく、自動車税の免税を受けている方には交付を中止。

三宮議員は、「なぜ中止したのか」また、介護認定を受けている方のタクシーチケットは、現在、通院に限定しており

「改善を」と質問。市は「高齢者タクシーチケットは、新年度から通院以外でも使えるようにする」

「障害者のタクシーチケットは、自動車

税の免税か、チケットの交付のいずれかで支援をしているのに対して対象外とする」と答弁。

三宮議員は、津島、愛西、蟹江、飛島なども、これまでの弥富と同じ併用制度。「重度障害者の方が、健常者と同じように日常生活を送れるよう」という制度の主旨から見ても、まだ不十分なもの、元の制度に戻すことを強く求めました。

急増する保育施設の死亡事故

	認可外施設	認可保育所	合計
81～1990年	10	0	10
91～2000年	28	6	34
01～2011年	64	36	100

(赤ちゃんの急死を考える会/2011.3) 単位は(人)

6月議会報告

脱原発・再生可能エネルギー 推進にむけて発信せよ

那須議員は6月議会の一一般質問で、原発問題を取り上げました。

中日新聞の世論調査では、脱原発と原発推進の割合は8対2なのに、国では国民の声を無視して大飯原発の再稼働を決定。しかし今も福島原発は放射能を自然界に放出しており、福島の方々は故郷に帰れない状況。数年後には、核の廃棄物の置き場すらなくなる。

再稼働が決定した大飯原発に、もし事故が起これば、放射能が弥富まで飛んで来ることを指摘。市民を守る観点から国に対して発信すべきと強調。

市長は昨年、中部電力に「原発を廃炉にし、再生可能エネルギーを

推進すれば、多くの国民から称賛される」と言っていたが、その立場が変わりないならば「脱原発をめざす首長会議」などに参加すべきではと質問。

市長は、首長会議に對して「産業より人命優先という、一面的な考え方だけで参加というのはいかがなものか、今後注視する」と答弁。

「基本的には以前と立場は変わっており、電力供給が整えば原発をなくす方向」で「国は正しい情報公開をすべき」と回答。

太陽光発電補助を増額

那須議員は「市長は、再生可能エネルギー推進と言っているのに、



なす 英二
TEL 090-1786-8514
メール nasue-j@clover.net.ne.jp
ブログ http://nasue-j.blogspot.com

消費税増税 困ります。

消費税増税の問題について、「市民の負担が増え、地元のお店

なぜ住宅用太陽光発電の補助を昨年度1kwあたり3万円から、今年度2万円に減らしたのか。家庭用LED電球などに補助を出し、省エネ対策を行ったかどうか」と質問。

市側は「25年度予算では太陽光補助を伸ばすことを考えていないが、LEDは補助を出すことは考えていないが、経済的だということをおアピールし、普及に努めたい」と回答。

ごみ袋問題調査 特別委員会発足

海部7市 町村の指定ごみ袋を作った理由が甘く、可燃ごみ袋(大)16ヶ月分、不燃ごみ袋、24ヶ月分の在庫を抱えているためです。調査特別委員会では、なぜこんなにも在庫を抱えたのか、どこに原因があるのか、調査していきます。第3回は7月19日に行われます。

海部7市 町村の指定ごみ袋を作った理由が甘く、可燃ごみ袋(大)16ヶ月分、不燃ごみ袋、24ヶ月分の在庫を抱えているためです。調査特別委員会では、なぜこんなにも在庫を抱えたのか、どこに原因があるのか、調査していきます。第3回は7月19日に行われます。

他の市町村に比べ、被害額が大きくなった原因は、製品の現物確認をせず支払ったこと。在庫の管理が甘く、可燃ごみ袋(大)16ヶ月分、不燃ごみ袋、24ヶ月分の在庫を抱えているためです。調査特別委員会では、なぜこんなにも在庫を抱えたのか、どこに原因があるのか、調査していきます。第3回は7月19日に行われます。



官邸前でのデモ抗議行動の様子

ツイッターなどで一般市民が「原発再稼働反対」と毎週金曜日、官邸前に集まっており、初めは300人程度だったが、6月29日には20万人と日ごとに増えている。参加者からは「子供の未来を守りたい」(子連れ若母)「野田首相は国民の声を聞け」(40代派遣労働者)など怒りの声が上がっている。

特徴として、参加している人が、政党や団体関係者ばかりでなく、一般の個人が自発的に集まっている「国民的抗議行動」である点だ。ここに新たな国民的世論の高まりと、今後の政治を変える力の可能性を秘めている。もっともっと、こういった国民的行動で国民の強さを示し、悪政を変えていきましょう。

6月議会で可決された意見書

- ①原子力発電に依存しないエネルギー政策の確立を求める意見書
 - [1]自然エネルギーや代替可能なエネルギーの研究、開発、普及をはかり原子力に依存しないエネルギーへの転換をはかること。
 - [2]自然エネルギーの設置に関し、法的規制の緩和措置を講ずること。
 - [3]自然エネルギーの普及、促進を図るため、設置に掛かる補助制度の拡充を図ること。
- ②介護保険・後期高齢者医療制度の抜本的改善を求める意見書
 - [1]介護保険と後期高齢者医療制度を、雇用保険と国民健康保険を中心とした保険制度に組み込む抜本的改正をされること。
 - [2]扶養されない低所得者も含む他の保険に加入できない人を、無条件で受け入れることになる国民健康保険に対して必要な財政措置を講じられること。
- ③年金支給額の削減及び年金支給年齢の引き上げをやめ、年金受給資格期間の短縮を求める意見書
 - [1]年金支給額2.5%の削減は行わないこと。
 - [2]年金支給年齢の引き上げをやめること。
 - [3]公的年金の受給資格期間を大幅に短縮すること。



～白鳥保育所改築計画～

6月議会で、白鳥保育所の改築にかかる「設計監理委託料」で、2386万円ほどの補正予算が組まれました。

《新園舎の概要》

現在の敷地を少し広げ、地震や津波を想定した高さ(盛り土をし、海拔0mに。建物の高さは2階建てで10m)にし、鉄筋コンクリート造り。床面積は1500㎡程度で、保育室6室、乳児室2室、遊戯室、調理室、職員室、定員は0歳児、1・2歳児がそれぞれ10名づつ増え、合計で140名に増。屋上に避難場所を設ける予定となっています。

改築にかかる工事費等の予算は6億9405万円ほどの予定です。

《計画》

- H24年度 基本実施計画・土地取得
一部の土地造成
- H25年度 仮設園舎の建設
- H26年度 旧園舎の解体・新園舎の建設
- H27年度1月ごろ 新園舎での保育開始